

【特別支援学校用】

令和5年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度(評価)
A:十分達成できている
B:おおむね達成できている
C:やや不十分である
D:不十分である

学校名 佐賀県立伊万里特別支援学校

1 前年度 評価結果の概要
取組内容13項目のうち、最終結果でのAは6項目、Bは3項目でおおむね目指したところの達成はできているかと思われる。Cは1項目ある。Cの評価をつけた「業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減」については、この業務とこの業務をなくすとか、この文書作成をやめるとか、具体的な方策を取らないと、呼びかけ、意識付けだけでは達成できないと感じる。次年度も現在の取り組みを継続しながら学校の充実を図ってきたい。

2 学校教育目標
将来の社会生活を見据え、自立を目指して児童生徒個々の特性に応じた教育を行う。

3 本年度の重点目標
1 児童生徒の特性と教育的ニーズの把握に努め、個に応じた教育計画・実践の充実を図る。
2 健康・安全教育の充実を図り、安全・安心な教育環境を整備する。
3 進路指導の充実を努め、キャリア教育の実践を積み重ねて卒業後の自立的な社会生活を目標とする。
4 児童生徒の主体性を尊重し、「明るく」「素直に」「元氣よく」「たくましく」生きる力を育む。

4 重点取組内容・成果指標 5 最終評価

(1)共通評価項目
表: 評価項目(学力の向上, 心の教育, 健康・体づくり, 地域支援, 業務改善) vs 重点取組内容 vs 具体的取組 vs 達成度(評価) vs 最終評価(実施結果) vs 学校関係者評価(評価, 意見や提言)

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目
表: 評価項目(進路指導とキャリア教育の充実) vs 重点取組内容 vs 具体的取組 vs 達成度(評価) vs 最終評価(実施結果) vs 学校関係者評価(評価, 意見や提言)

●...県共通 ○...学校独自 ◎...志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望
取組内容8項目のうち、最終結果でのAは6項目、Bは2項目であった。目指したところの達成はできているかと思われる。Bの評価をつけた「効果的な地域支援に向けた特別支援学校のセンター的機能の充実」については、年度当初の説明と途中の研修だけでなく、啓発活動とともに、より多くの職員が関わるような取り組みを行っていく必要があると思われる。また、「業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減」についてもあらゆる手立てを構築し、少しずつでも進めていかねばならない。次年度も現在の取り組みを継続しながらよりよい学校生活の提供、職員の専門性の向上を図ってきたい。